

近隣の市町村勢一覧(1)

市町村	市町村役場			面積 (29.10.1)  (km <sup>2</sup> )	国勢調査 (27.10.1)				産業別15歳以上就業者数 (27年国勢調査)				自然動態 (29.1.1～29.12.31)		
	所在地	郵便番号	電話番号 (代表)		世帯数 (世帯)	人口 (人)	男 (人)	女 (人)	総数1) (人)	第1次 産 業 (人)	第2次 産 業 (人)	第3次 産 業 (人)	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)
鳥取県	鳥取市東町 1-220	680-8570	0857-26-7111	3,507.13	216,894	573,441	273,705	299,736	280,925	24,671	59,764	187,826	4,329	7,550	△ 3,221
鳥取市	尚徳町116	680-8571	0857-22-8111	765.31	75,941	193,717	94,151	99,566	93,021	5,219	19,037	64,810	1,420	2,264	△ 844
米子市	加茂町1-1	683-8686	0859-22-7111	132.42	60,037	149,313	70,628	78,685	71,479	2,451	14,219	51,799	1,359	1,768	△ 409
倉吉市	葵町722	682-8611	0858-22-8111	272.06	18,548	49,044	23,106	25,938	23,953	2,393	5,310	15,876	373	663	△ 290
境港市	上道町3000	684-8501	0859-44-2111	29.10	13,094	34,174	16,294	17,880	16,507	667	4,186	11,289	245	469	△ 224
三朝町	大瀬999-2	682-0195	0858-43-1111	233.52	2,290	6,490	3,061	3,429	3,277	523	613	2,140	36	108	△ 72
湯梨浜町	久留19-1	682-0723	0858-35-3111	77.94	5,482	16,550	7,910	8,640	8,555	1,258	1,786	5,491	151	250	△ 99
琴浦町	徳万591-2	689-2392	0858-52-2111	139.97	5,795	17,416	8,178	9,238	9,114	1,943	2,175	4,818	116	283	△ 167
北栄町	由良宿423-1	689-2292	0858-37-3111	56.94	4,813	14,820	7,038	7,782	8,004	1,795	1,664	4,390	101	207	△ 106
岩美郡				122.32	3,993	11,485	5,437	6,048	5,469	661	1,435	3,354	78	188	△ 110
八頭郡				630.59	9,117	27,408	13,020	14,388	13,845	2,106	3,659	7,889	136	443	△ 307
東伯郡				508.37	18,380	55,276	26,187	29,089	28,950	5,519	6,238	16,839	404	848	△ 444
西伯郡				447.50	13,562	41,977	19,785	22,192	22,002	4,061	4,618	12,958	271	645	△ 374
日野郡				599.46	4,222	11,047	5,097	5,950	5,699	1,594	1,062	3,012	43	262	△ 219
資料出所	県地域振興課			国土交通省 国土地理院	総務省							県統計課			

【資料】「平成30年版鳥取県勢要覧」鳥取県統計課

【注】1) 総数には分類不能の産業を含む。

近隣の市町村勢一覽(2)

市町村	社会動態 (29.1.1~29.12.31)			販売農家数 (27.2.1)		自給的 農家数 (27.2.1)	販売農家 における 農家人口 (27.2.1)	耕地面積 (29.7.15)			米 (水稻・29年)		林野面積 (27.2.1)	労働力状態 (27年国勢調査)		事業所 1) (28.6.1)	
	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	総数 (戸)	うち専業 (戸)			計 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)		労働力 人口 (人)	労働力 率 (%)	事業所 (所)	従業者 (人)
鳥取県	16,373	17,537	△ 1,164	17,843	4,654	9,867	68,377	34,500	23,500	11,000	12,600	65,500	258,782	292,349	60.5	25,809	231,711
鳥取市	4,953	5,279	△ 326	4,214	972	2,565	16,337	6,980	5,460	1,530	3,140	16,500	54,561	97,149	60.5	9,047	84,096
米子市	5,058	5,112	△ 54	1,818	474	1,147	7,116	2,960	1,930	1,030	972	5,110	2,471	74,328	61.0	6,978	68,867
倉吉市	1,275	1,568	△ 293	1,599	410	973	5,992	3,880	2,640	1,240	1,450	7,310	18,472	25,034	59.4	2,895	23,191
境港市	1,268	1,355	△ 87	91	46	219	295	375	62	313	16	73	46	17,192	59.1	1,473	14,389
三朝町	156	176	△ 20	411	90	274	1,542	799	583	216	295	1,360	20,662	3,381	59.1	231	2,175
湯梨浜町	545	498	47	730	198	471	2,875	1,300	721	579	399	2,000	3,949	8,882	62.8	560	3,966
琴浦町	446	480	△ 34	1,105	309	440	4,364	2,840	1,530	1,300	647	3,360	8,743	9,407	62.4	724	6,057
北栄町	362	391	△ 29	882	322	404	3,471	2,180	887	1,300	559	2,930	1,435	8,308	64.5	581	4,029
岩美郡	353	328	25	437	102	297	1,597	875	780	95	467	2,440	9,929	5,766	57.0	391	2,908
八頭郡	597	786	△ 189	1,716	468	1,263	6,537	2,655	2,103	548	1,262	6,514	55,899	14,384	59.1	981	6,239
東伯郡	1,509	1,545	△ 36	3,128	919	1,589	12,252	7,119	3,721	3,395	1,900	9,650	34,789	29,978	62.7	2,096	16,227
西伯郡	1,133	1,198	△ 65	3,493	832	1,307	13,685	7,009	4,507	2,498	2,184	11,619	30,143	22,694	61.8	1,388	12,359
日野郡	227	366	△ 139	1,347	431	507	4,566	2,673	2,286	388	1,207	6,244	52,464	5,824	57.2	560	3,435
資料出所	県統計課			農林水産省										総務省			

【資料】「平成30年版鳥取県勢要覧」鳥取県統計課

【注】1)民間事業所数(事業内容等不詳事業所を除く)速報値。

近隣の市町村勢一覧(3)

市町村	商業 1) (28.6.1)			市町村財政 (普通会計・28年度)			国民健康保険 2) (28年度)		水道 (29.3.31)		選挙人名簿登録者数 (30.6.1)		児童・生徒数 3) (30.5.1)		自動車 4) 保有台数 (30.3.31)
	事業所 (所)	従業者 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	歳入 決算額 (千円)	(うち) 市町村税 (千円)	歳出 決算額 (千円)	年度末 被保険者 数 (人)	保険給付費 (千円)	給水人口 (人)	普及率 (%)	総数 (人)	(うち) 男 (人)	小学校 (人)	中学校 (人)	
鳥取県	5,736	40,168	1,290,116	315,914,824	65,988,282	306,671,585	127,559	42,436,800	559,179	97.7	477,519	225,995	28,939	15,063	461,301
鳥取市	1,871	14,301	449,875	96,883,163	23,125,686	95,473,561	39,865	12,677,976	188,222	99.0	157,868	75,231	9,844	5,139	148,618
米子市	1,530	12,262	451,772	63,616,877	18,665,200	62,236,046	31,541	10,086,307	147,865	99.6	123,115	57,942	7,986	4,242	116,682
倉吉市	667	4,033	103,559	29,617,586	5,567,558	28,491,658	11,650	3,778,654	46,366	96.5	40,127	18,679	2,506	1,187	40,485
境港市	404	2,862	121,112	16,430,142	3,922,306	16,187,055	7,200	3,104,981	33,702	97.6	28,912	13,878	1,668	848	27,568
三朝町	44	223	4,812	4,955,940	673,298	4,759,607	1,544	523,826	6,187	92.6	5,631	2,640	318	186	5,262
湯梨浜町	133	646	14,212	11,006,025	1,435,508	10,616,345	3,887	1,306,940	16,908	99.3	14,113	6,704	929	523	13,026
琴浦町	175	1,033	26,073	11,505,861	1,699,859	11,050,473	4,525	1,583,946	17,534	98.1	14,937	7,015	905	414	15,291
北栄町	138	711	26,687	9,991,606	1,356,852	9,334,173	4,347	1,325,865	15,260	99.5	12,776	6,057	791	416	14,192
岩美郡	83	375	7,953	6,786,618	1,012,429	6,662,961	3,008	977,547	11,670	98.3	10,068	4,743	498	290	9,274
八頭郡	234	870	12,837	22,257,029	2,274,968	21,074,437	6,573	2,274,180	25,653	-	24,180	11,465	1,173	613	23,276
東伯郡	490	2,613	71,784	37,459,432	5,165,517	35,760,598	14,303	4,740,577	55,889	-	47,457	22,416	2,943	1,539	47,771
西伯郡	324	2,339	62,364	28,798,028	4,698,860	27,624,266	10,862	3,846,918	40,699	-	35,928	17,051	2,029	1,001	37,147
日野郡	133	513	8,859	14,065,949	1,555,758	13,161,003	2,557	949,660	9,113	-	9,864	4,590	292	204	10,480
資料出所	経済産業省			県地域振興課					厚生労働省		県選挙管理委員会		県統計課		中国運輸局 鳥取運輸支局

【資料】「平成30年版鳥取県勢要覧」鳥取県統計課

- 【注】1) 民間事業所数(事業内容等不詳事業所を除く)。  
 2) 市町村国民健康保険事業会計の合計。  
 3) 学校の所在する市町村ごとに集計。速報値。  
 4) 軽二輪を除く。

## 年表(1)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
前5000～3000	▼無土器時代	▼県下で8個の銅鐸が発見された
前3000～2000	▼縄文文化時代(採集経済時代)▼新石器時代▼弥生文化時代(墳墓遺跡・かめ棺埋葬—原始農業時代)	▼小国分立から国家統一への時代
前2000～後600	▼弥生文化時代～古墳文化時代(大宮・国府・上神・三明寺・波々伎神社古墳などが築造された)▼大御堂をはじめ大原・石塚・藤井に寺が創建された	▼県下には十数カ所の廃寺跡がある ▼銀銭と銅銭の比価を定める
721(養老5)	▼長谷寺を建立したという	
757(天平頃)	▼伯耆国分寺を創建(旧社村)	
947(天曆元)	▼国分寺を焼失	
1185(文治元)	▼平家残党が河来見に隠れ住むとか	▼壇ノ浦の戦で平氏滅亡
1258(正嘉2)	▼東郷庄園中分絵図をつくる	
1333(元弘3)	▼上神直行など名和勢に加わる	▼鎌倉幕府滅ぶ
1341(暦応4)	▼山名時氏が因幡伯耆守護となり田内城をつくる	
1356(文和5)	▼山名師義が打吹城をつくる	
1524(大永4)	▼尼子軍乱入(5月崩れ)	
1544(天文13)	▼洪水(甲辰の水)で見日市・鹿首村などを流失	
1632(寛永9)	▼荒尾志摩守がきて、以後12代のあいだこの地を領有する	
1680(延宝8)	▼藩の銀札を濫発し困った	
1693(元禄6)	▼佐平が堺から稲こき千刃の製法を伝える	
1742(寛保2)	▼松岡布政が伯耆民談記を著す(この頃2郡・11郷・101村)▼源徳院浩禅が寺子屋を開くという	
1750(寛延3)	▼倉吉の大火(700戸を焼く)	
1751(寛延4)	▼茂島真意が寺子屋を開く	
1812(文化9)	▼大江盤代君の死(69歳)	
1836(天保7)	▼申歳の大がしん(市内の死者 1,600～1,700人)	▼因伯の死者は約20,000人
1852(嘉永5)	▼大阪木綿問屋(5人)と倉吉の木綿問屋(13人)が商業契約を結ぶ	
1853(嘉永6)	▼永井良平が倉吉緋を織りだす	▼ペリーがくる
1867(慶応3)	▼農兵に砲術のけいこを始める	▼大政奉還
1869(明治2)	▼藩校総学局倉吉分局を開く	▼関所を廃止
1871(明治4)	▼鍛冶町のちょんまげ騒動	▼戸籍法公布
1872(明治5)	▼大庄屋が郡長に、庄屋が村長になる▼倉吉郵便取扱所が設置される	▼東京～大阪に電信開通▼太陽暦採用▼徴兵公布
1873(明治6)	▼久米・河村・八橋郡役所をおく▼各地区に単位学校をつくる	▼紀元節制定
1876(明治9)	▼鳥取県を廃し、島根県に編入	▼はい刀禁止
1878(明治11)	▼郡区町村などできる(行制再編成)	▼自由民権論が盛んになる
1881(明治14)	▼久米河村農学校(1885県立)設立▼奨恵社設立▼鳥取県を再置	▼大日本農会設立
1883(明治16)	▼齊木製糸場できる	
1887(明治20)	▼倉吉融通会社設立▼久米河村二郡高等小学校設置▼東伯郡蚕糸同業組合創設	▼東京に電燈がつく
1888(明治21)	▼倉吉電信局開設	
1889(明治22)	▼倉吉町制を布く▼倉吉製糸会社設立	▼明治憲法公布▼東海道線開通
1892(明治25)	▼太一車の発明(水田除草機—発明者は中井太郎)	
1893(明治26)	▼大洪水(死傷者 500人)	
1894(明治27)	▼私設消防団が公設消防団となる	▼日清戦争
1897(明治30)	▼倉吉緋同業組合設立▼河北高等小学校(のちの河北農)が設置される▼研志塾設置	▼新貨幣法実施
1903(明治36)	▼中江に小作人組合結成▼山陰線が上井駅まで開通する	▼全国の人口が4,832万人となる
1904(明治37)	▼打吹公園をつくる(郡事業)	▼日露戦争勃発▼米価1石12円89銭
1906(明治39)	▼私立倉吉幼稚園設立	

年表(2)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1907(明治40)	▼天神野耕地整理組合が発足	
1908(明治41)	▼倉吉女学校設置(1921県立)	
1909(明治42)	▼県立倉吉中学校創設	▼種痘法公布▼伊藤博文死去▼米価11円
1912(明治45)	▼倉吉線開通▼記念道路を計画	▼山陰線全通▼米価23円
1914(大正3)	▼倉吉実科高等女学校設置	▼第1次世界大戦
1920(大正9)	▼芸術団体(砂丘社)創立	▼第1回メーデー(東京)▼第1回国勢調査
1921(大正10)	▼倉吉にはじめて映画館誕生	
1922(大正11)	▼大谷公設運動場建設▼(中国オリンピック大会開く)	▼健康保険法公布
1927(昭和2)	▼地主による東伯土地株式会社創設▼東伯小作連合会を結成▼西郷小学校を全焼	
1928(昭和3)	▼厚生病院(産業組合営)設立	▼はじめての普通選挙実施▼満洲事変おこる
1932(昭和7)	▼倉吉町上水道設置	▼5・15事件
1935(昭和10)	▼社村耕地整理組合が発足	▼全国一斉に青年学校を開く▼支那事変おこる
1940(昭和15)	▼上灘小学校を全焼	▼生活必需品のキップ制▼大制翼賛会発足
1941(昭和16)	▼小学校が国民学校に変わる▼倉吉線を関金へ延長	▼日米戦争始まる
1943(昭和18)	▼鳥取大地震発生	
1944(昭和19)	▼日下村が上井町に▼学徒動員	▼17歳以上を兵役に
1945(昭和20)	▼岩倉に爆弾投下▼鳥取青年師範を上井に▼疎開者がふえる▼高城に飛行場を建設▼復員と引揚げ続く▼連合軍の姿がふえる▼自作農創設特別措置法実施▼倉吉商工会議所・東伯文化協会・労働組合誕生	▼広島に原子爆弾投下▼日本無条件降伏▼連合軍占領▼新円きりかえ▼教育勅語廃棄▼新憲法公布
1947(昭和22)	▼国民学校を小学校に▼倉吉東・倉吉西・久米・河北中学校設置▼小中学校にPTA▼母子寮設立▼初の県知事・市町村長・同議員の公選▼消防本部と消防署設置	▼教育基本法公布(6・3制実施)▼「大日本帝国」を「日本政府」に
1948(昭和23)	▼倉吉町自治警察署・町立養老院設置	▼国民の祝日きまる▼初の教育委員選挙
1949(昭和24)	▼青年師範を鳥取大学に加える	▼新制大学発足
1950(昭和25)	▼第15回中国四国連合会畜産共進会開く▼倉吉美術協会発足	▼千円札発行▼朝鮮戦争おこる▼衣料キップ制廃止
1951(昭和26)	▼倉吉町が小鴨村を合併▼各町村が公立保育園をつくる	▼サンフランシスコ講和条約に調印▼自治警察廃止
1952(昭和27)	▼倉吉町役場全焼▼倉吉町自治警察署を廃止▼第1種陸上競技場を完成▼天神野土地改良おわる	▼鳥取大火▼講和条約発効▼住民登録実施
1953(昭和28)	▼倉吉高等学校を倉吉東と倉吉西高にわけ▼倉吉農高から分離して河北農高を独立▼倉吉市制施行10月1日(倉吉町・上井町・西郷村・上北条村・社村・高城村・北谷村・上小鴨村・灘手村の一部 人口49,677人)▼市長・市議・教育委員の選挙▼校区ごとに公民館をおく	▼町村合併促進法施行▼NHKテレビ放送開始▼奄美大島返還▼スターリンソ連首相死去
1954(昭和29)	▼市章・市歌を制定▼市金庫を設置▼市自治連合会発足▼市営公益質屋を設置▼市社会福祉協議会発足▼上灘保育園完成▼市民生児童委員協議会発足▼市教育目標を決定▼市公民館連絡協議会を結成▼第1回市美術展開く▼倉吉物産作州展示会開く	
1955(昭和30)	▼市営火葬場新設▼倉吉電話中継所開設▼倉吉文化財協会発足▼組合立伝染病院設立▼国民健康保険全市実施▼灘手村を合併(人口52,734人)▼国鉄美伯線(倉吉～津山)開通▼各支所を廃止▼小鴨鉱山でウラン鉱石を発見▼市社会教育委員をおく▼第1回倉吉古美術展開く▼高城小学校校舎完成▼明倫小学校円型校舎完成▼市社会福祉協議会が小鴨保育園を開設▼市議増員▼補欠選挙▼上井駅前土地区画整理事業完成	▼自由民主党結成▼青函連絡船「洞爺丸」沈没
1956(昭和31)	▼NHK倉吉放送局開設▼中部地方事務所を廃止▼県立保育専門学院開設▼財政再建計画きまる▼新教育委員任命▼倉吉市誌を刊行▼原子燃料公社倉吉出張所まれる▼市庁舎完成▼小学校全校に完全給食▼久米地区新農村建設事業始まる▼上井第1保育園完成▼消防団を3団に改める	▼売春防止法うまれる▼日本が国連に加盟する
1957(昭和32)	▼新農業委員選挙▼第12回県民体育大会開く▼第2回市長・市議選挙▼西中と河北中に完全給食▼新市町村建設審議会発足▼大鴨地区新農村建設事業始まる	▼東海村原子炉完成▼日本農民組合結成▼ソ連初の人工衛星打ち上げ成功
1958(昭和33)	▼清掃手数料徴収始まる▼ウラン節をつくる▼ブルドーザー購入▼上小鴨有線放送電話完成▼軽自動車税始まる▼納税貯蓄組合 218組に達する▼市社会教育目標をつくる▼四王寺地区新農村建設事業始まる▼県営プール(河北中)完成▼市営と畜場完成▼大鴨簡易水道完成▼東中で完全給食▼河北小学校校舎完成▼市道の簡易舗装始まる▼商店に週休制実施▼全市で市政座談会開く▼新市建設計画基礎調査まとまる	

年表(3)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1959(昭和34)	▼NHKテレビと日本海テレビ開局▼新市建設計画きまる▼皇太子ご成婚行事をおこなう▼玉川改修始まる▼消防庁舎完成▼河北地区新農村建設事業始まる▼久米ケ原開発調査始まる▼NHK夏期移動相談開く▼成徳小学校に集団赤痢▼新養老院の完成▼伊勢湾台風の被害が10億円にのぼる▼希望の家開設	▼伊勢湾台風が各地に被害を及ぼす▼国民年金法施行▼ソ連月ロケット打ち上げ成功
1960(昭和35)	▼河北小学校体育館完成▼県立図書館倉吉分館完成▼河北中学校が組合立を解散し倉吉市立となる▼倉吉駅裏土地区画整理事業始まる▼農産加工工場誘致5月から操業▼上小鴨・北谷保育園完成▼農業委員選挙▼第13回中国高等学校陸上競技大会開催▼灘手簡易水道完成▼第15回県民体育大会開催▼第4回県青年大会開催▼上北条土地改良始まる	▼日米安保条約発効▼池田内閣誕生▼自治省発足▼浅沼社会党委員長が右翼に刺殺される▼岸首相暴漢に刺される
1961(昭和36)	▼市営野球場建設始まる▼倉吉駅裏区画整理審議会できる▼養老院増築完成▼国府橋完成▼全市で地域問題研究集会開催▼皆成学園校舎改築完成▼じんかい焼却場完成▼第3回市長・市議選挙	▼農業基本法制度▼米・キューバ断交▼ソ連有人衛星ボストーク1号地球一周
1962(昭和37)	▼大原に上水道を布設▼倉吉市開発公社を設立▼倉吉幼稚園改築完成▼西高・倉吉農高体育館完成▼高城地区に集団赤痢発生(患者 333人に達する)▼鉢屋川下水路工事完成▼低開発地域工業開発地区に指定される▼農業構造改善事業実施計画まとまる▼小鴨有線放送電話完成▼大鴨土地改良始まる▼小鴨保育園完成	▼南勝線が調査線となる▼県庁舎完成▼県経済連と中央農協連が合併▼堀江少年ヨット太平洋横断▼米国通信衛星テレビ中継に成功
1963(昭和38)	▼倉吉福祉会館完成▼河北中学校校舎改築完成▼大塚橋完成▼西町商店街アーケード完成▼倉吉電報電話局局舎新築完成▼電話自動化▼八幡住宅団地造成おわる▼農業協同組合併統合なる▼第2次建設計画きまる▼市制10周年記念名誉市民制度きまる▼国際陸上競技倉吉大会開催▼生竹橋完成	▼名神高速道路開通▼現職大臣邸焼打ち▼日本原水協核実験禁止協定締結
1964(昭和39)	▼灘手保育園完成▼伝票会計を実施▼国鉄南勝線が工事線にきまる▼集中豪雨(2,100戸浸水)沢井手水路改修始まる	▼ビール酒類自由販売▼新潟大地震▼東海道新幹線開通▼東京オリンピック大会開く▼佐藤内閣成立
1965(昭和40)	▼し尿処理場が完成▼天皇后両陛下ご来倉▼打吹公園遊歩道完成▼集中豪雨(680戸浸水)▼小鴨小学校改築始まる▼倉吉民謡みつぼし盆唄復活▼郡是ファンデーション工場にかわる▼第4回市長・市議選▼西郷小学校が全日本健康優良学校特選校に選ばれる▼消防庁舎2階増築工事完成(水道課移転)▼中部農業経済圏に指定される	▼日韓基本条約調印▼朝永振一郎氏ノーベル物理学賞受賞▼国鉄みどりの窓口設置▼松代地震発生
1966(昭和41)	▼上水道を東郷町へ分水▼高城保育園完成▼西郷土地改良始まる▼上北条土地改良事業完成▼打吹公園に花木園をつくる▼久米ケ原開発に着手▼富海入口までバス開通▼高城山にキャンプ場できる▼皇太子美智子両殿下ご来倉▼日専連中国大会開催▼クレー射撃場新設▼市農業委員選挙	▼台風26号関東中部を襲い死者行方不明 314人▼全日空・カナダ航空・BOAC飛行機事故頻発▼「建国記念の日」を制定
1967(昭和42)	▼社小学校体育館完成▼倉吉東高新校舎完成▼上井駅前広場拡張計画まとまる▼竹田橋の拡張に着手▼農村開発推進協力員を新設▼青少年育成倉吉市民会議結成▼打吹公園に展望台完成▼中部総合事務所新庁舎完成▼梨・桑に大被害(面積 128ha・被害額58.8百万円)▼家庭児童相談室を新設▼倉吉電報電話局にパラボラアンテナ設置される▼大規模な倉吉変電所を建設▼第1回みつぼし踊り市民大会開催▼市交通事故相談所を新設▼如来原～倉吉線・林道大山東部線に着工▼砂丘号上井駅まで延長運転▼農村集団自動電話が架設▼明倫・高城小学校プール完成▼全寮制倉吉農高が発足	▼羽田空港流血デモ事件▼日航世界一周営業開始▼ラジオ受信料廃止▼ユニバーシアード東京大会開く▼四日市ゼンソク公害訴訟▼吉田茂元首相死去に伴い戦後初の国葬
1968(昭和43)	▼倉吉商工会議所会館落成▼市長に小谷善高氏当選▼交通災害共済組合発足▼救急業務開始▼久米中・小鴨小・社小・北谷小プール完成▼小鴨小・明倫小・高城小・河北中各体育館完成▼倉吉郷土館開設▼小鴨橋に歩道橋完成▼国道 179号線立体交差橋完成▼組合立ゴミ処理場建設▼市制15周年記念事業実施(市花・市民憲章の制定など)▼倉吉線廃止反対運動始まる▼国民宿舎東大山せきがね荘完成	▼小笠原諸島日本復帰▼沖縄首長公選▼郵便番号制度発足▼参議院にタレント議員登場▼札幌医大で初の心臓移植手術▼川端康成氏ノーベル文学賞受賞▼東京府中で3億円強奪事件発生
1969(昭和44)	▼第1回市政研究集会開く▼竹田橋拡張工事完成▼久米ケ原ほ場整備着工▼倉吉立石電気LL操業開始▼上井地区国道の街路灯完成▼学校給食センター完成▼上灘小プール完成▼伯耆国分寺遺跡発掘▼東中竣工全面移転▼上井・西郷公民館建設▼第1回体育功労者の表彰▼中国高等学生陸上競技大会開く▼ホームヘルパーの設置▼鴨川改良工事に着手▼向山ゴミ処理場完成	▼学園紛争激化▼東名高速道路開通▼国民総生産資本主義社会で世界第2位に躍進▼人類初めて月面に着陸する▼公害病対象地域6ヶ所を決定
1970(昭和45)	▼中部食肉センター完成▼中部広域市町村圏計画策定▼し尿処理場拡張工事に着手▼倉吉福山線が国道313号に昇格▼三明寺橋完成▼大鴨ほ場整備事業おわる▼米の生産調整実施▼農政協議会発足▼市総合開発計画策定▼公害対策協議会発足▼西中プール完成▼文化財保護モデル地区に指定される▼西中に特殊教育センター設置▼老人医療助成措置▼福守町住宅団地完成▼休日急患診療所発足▼NHKふるさとの歌まつり公開放送▼打吹山頂への遊歩道完成▼大規模つつじ園造成▼上水道第5次拡張工事に着手	▼日本医師会全国一斉休診▼国産衛星第1号「おおすみ」打上げ▼日本万国博開く▼日本赤軍「よど号」乗っ取り▼東京で歩行者天国・光化学スモッグ発生▼三島由紀夫割腹自殺

年表(4)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1971(昭和46)	▼辺地総合整備計画決定▼市老人福祉センター完成▼鳥取女子短期大学開校▼市内小中学校宿日直制度廃止▼小鴨小健康優良校日本一▼老人医療費全額公費負担▼農業者年金開始▼倉吉駅舎改築と駅名改称(倉吉駅・打吹駅)▼中部市町村共同施設管理組合発足▼屈折ハンゴ消防車配備▼高城トンネル完成▼灘手小プール完成▼市史編さん委員会発足▼雇用促進住宅と勤労青少年体育センター建設▼畜産団地完成▼円谷水源地完成▼上灘小体育館と河来見分校校舎完成	▼中国国連加盟▼成田新空港着手▼ニクソン大統領訪中▼自衛隊機と日航機衝突▼青函トンネル工事着工▼アポロ15号月面探査▼ソ連の火星3号軟着陸に成功▼竹入委員長暴漢に刺される
1972(昭和47)	▼市立養護学校開校▼新倉吉八景さまる▼倉吉 岡山直バス開通▼勤労青少年体育センター完成▼大平農免農道完成▼総合卸センター開所▼倉吉郵便局開局 100年▼市民相談車設置▼不燃物破碎施設できる▼県営新町駐車場が開設▼集中豪雨3億5千万円の被害▼山陰・山陰中央テレビ中継局完成▼巖城橋完成▼如来原倉吉線バイパス完成▼大鴨橋歩道橋完成▼広域消防スタート▼市農協本所完成▼市農協生活センター完成▼勤労青少年ホーム開館▼倉吉消防署西倉吉分署完成▼農村施設等総合整備事業着手	▼札幌冬期五輪大会開く▼連合赤軍浅間山荘事件で集団リンチ▼山陽新幹線岡山まで開通▼高松塚古墳壁画発見▼沖繩祖国復帰▼田中内閣発足列島改造論▼中国の古墳で2,100年前の遺体発見
1973(昭和48)	▼横綱桜桃誕生、祝賀パレード実施▼市内の小中学校相次いで100周年を迎える▼上灘土地区画整理事業の工事にかかる▼打吹山東遊歩道完成▼道路舗装を重点実施▼西郷小校舎・プール・体育館完成▼市制20周年記念事業実施(夏の祭典・市の木「ツバキ」制定・フラワーボット設置など)▼西中武道館完成▼1日地建開く▼モデルコミュニティ上井地区指定▼中部市町村共同管理組合庁舎完成、消防署も移転▼営農団地センターと市農協本所完成▼梨のマンモス選果所完成▼八屋水源地完成▼みどり町団地造成▼公園でクマ事件▼愛児園・めぐみ園・みのり保育園完成▼倉吉博物館完成(開館は翌年5月)▼生活物資対策室設置▼テニスコート6画完成▼菊人形展開く▼公共・流域下水道事業調査▼第1回部溶解放研究会開く	▼国労働労スト、史上最大のゼネスト、乗客の暴動おこる▼金大中事件発生▼伊勢神宮20年目の式年遷宮▼関門橋開通▼石油不足で国民生活に大打撃、紙の不足で新聞減ページ▼自衛隊違憲判決▼山陰両県で大干ばつ▼振替休日制度決まる
1974(昭和49)	▼泉源調査(沢谷)▼大原水源地完成▼林道大山東部線完成▼倉吉市史発刊▼伯耆国分寺跡が国の史跡指定を受ける▼気象観測の雨量計設置▼市道緊急補修班設置▼県植樹祭開く▼南勝線建設工事起工式を実施▼久米ヶ原ダム完成▼地方生活圏の指定を受ける▼北谷公民館完成▼陸上競技場助走路全天候型に舗装▼さよならSL走る▼倉吉博物館オープン▼新田橋架替起工▼上北条診療所改築▼不入岡橋完成▼第2ごみ処理場完成▼風土記の丘建設期成会できる▼行政無線電話開通▼水道局八屋に移転▼宮川町市営駐車場設置▼移動入浴車購入▼社小体育館完成▼市が電算機導入▼伯耆国分寺尼寺跡を確認▼花木園を造成▼県立西高が秋喜に移転▼新中核都市建設構想まとまる▼高額療養費支給開始▼小田橋歩道橋完成▼高校総体陸上で東高が全国優勝	▼田中首相東南アジア訪問▼NHK深夜放送中止▼モナリザ展開く▼参院選保革伯仲▼東京三菱重工爆破事件▼新幹線故障続発▼佐藤栄作ノーベル平和賞受賞▼田中首相金脈問題で首相辞任▼フォード大統領訪日▼原子力船「むつ」で放射線もれ事故
1975(昭和50)	▼倉吉市土地開発公社設立▼北高春のセンバツ高校野球出場▼因伯子供学園移転▼谷田文庫できる▼都市計画用途地域決まる▼倉吉東・ひまわり保育園完成▼上北条簡水を上水道に統合▼社保育園完成▼消費生活センター開設▼社公民館完成▼特別養護老人ホーム開設▼浅田山で地すべり災害対策本部を設置▼河北中の武道館完成▼騒音規制地域指定▼和田配水池完成▼倉吉駅前に派出所設置▼降ヒョウ被害、7億7千万円の被害▼市財政危機を迎える▼上灘小校舎完成▼社小プール完成▼玉川にコイを放流▼東中武道館完成▼養護学校建設さまる▼ライスセンター設置▼大型店お目見え▼自主財政再建計画策定(赤字解消)▼第1回解放文化祭開く	
1976(昭和51)	▼上灘保育園改築▼野球場整備▼福光簡水を上水道に統合▼県中央体育館オープン、全国規模集会相次いで開く▼神鋼機器工業不振に陥る▼明倫小学校改築移転▼総合防災訓練の実施▼全国旅館組合大会開く▼全国自治労定期大会開く▼中部地区振興シンポジウム開く▼第4次総合開発計画策定▼上井配水池完成▼養護学校建設着工▼山陰放送ラジオ中継局完成▼人形峠トンネル工事着工▼伯耆国庁跡を確認	▼ロッキード事件で前総理ら逮捕▼バイキング機火星着陸▼天皇在位50年祝典開く▼世界各地でゲリラ活動▼衆議院解散総選挙▼ソ連ミグ戦闘機函館空港に着陸▼中国毛主席死去▼ベトナム統一▼アメリカ大統領にカーター氏就任
1977(昭和52)	▼市営球場の整備を記念してプロ野球オープン戦▼倉吉市公共下水道工事がはじまる▼県立倉吉総合看護学校と保育専門学院の合同校舎完成▼市の行政機構をあらためる▼全国高校総体の女子バレーボール大会、第1回倉吉打吹まつりが開かれる▼伯耆国分寺跡を中心とする歴史公園の整備すすむ▼市議会議員選挙が行われる▼中央公民館が旧明倫小学校跡に移転▼国道179号人形峠トンネルの工事はじまる	
1978(昭和53)	▼市政研究集会を新しい試みで実施▼県知事選挙行われる▼市制25周年記念事業計画が具体化▼市営球場で初のプロ野球公式戦▼振動規制地域を指定▼皇太子・美智子妃殿下ご来倉▼倉吉北高校、県代表として甲子園出場▼市制25周年記念、第2回倉吉打吹まつりにぎわう▼はじめての夏の成人式実施▼市立養護学校新校舎が長坂新町に完成し移転▼倉吉でワインづくりはじまる▼市制25周年記念式典を挙行、倉吉初の名誉市民が4名誕生、音楽祭など各種行事開催	▼円高不況(1ドル=180円)▼日中平和友好条約の締結

年表(5)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1979(昭和54)	<p>▼累積赤字を昭和53年度内に解消、財政の再建策成▼上小鴨小学校校舎の全面改築、西郷小学校校舎の増改築など学校施設を整備▼倉吉市各界友好訪中団、日中の友好親善深める▼倉吉北高校、2度目の選抜高校野球大会出場でベスト8入りはたす▼部落解放の拠点、自主解放会館を開設▼石田助役の急逝にともない、佐々木助役、宍戸収入役を選任▼倉吉市を中核とする中部圏域が、国土庁のモデル定住圏の選定を受ける▼新田橋・反土橋、人形トンネル貫通など道路交通網を整備▼台風により橋の流失、ガケくずれなど被害甚大▼松くい虫被害も全市に広がる▼西倉吉工業団地に尾池工業(株)進出決まる</p>	
1980(昭和55)	<p>▼倉吉市第5次総合開発計画ならびにモデル定住圏計画を策定▼60年国体に備え、国体準備委員会を結成▼市内小・中学校の校舎や体育館を次々と改築▼灘手小・河北小・久米中の校舎完成▼成徳小・上灘小・上小鴨小広瀬分校校舎と灘手小・久米中体育館に着工▼国際児童年を記念して(昭和54年)上灘児童遊園地を設置▼山上憶良の歌碑を建設▼市民憲章制定10周年を記念して市花「つつじ音頭」市の木「赤い椿」の歌をレコード化▼冷夏により農作物が被害を受ける▼被害額は約15億円▼被害農家には約3億6千万円の融資▼国鉄の再建計画による倉吉線廃止に対して「こぞって倉吉線を守ろう住民大会」など各種の運動を展開する▼上灘土地区画整理事業の完成に引続き倉吉駅周辺都市改造事業に着手▼モデル定住圏計画推進協議会を設置計画実現へ向けてスタート</p>	
1981(昭和56)	<p>▼中部医師会館内に中部休日急患診療所を新築▼倉吉線存続運動を盛り上げるために小旗、ステッカーなどを配布▼上小鴨小広瀬分校、灘手小と久米中体育館完成▼上灘小学校舎増築、成徳小学校舎増改築▼西中体育館建設に着工▼上小鴨保育園移転改築▼新小鴨橋完成▼倉吉北高校、選抜高校野球大会でベスト4▼モデル定住圏計画具体化をめざすテレビ番組「みんなでつくろう中部圏」が放送される▼鳥取国体の開催が内定▼歴史民俗資料館、スポーツセンター建設に着工▼市議会議員一般選挙が行われる▼人形トンネルが開通▼伯耆国分寺跡の環境整備事業完成▼国際障害者年にあたり障害者福祉都市推進事業の一環として、音響信号機設置、庁舎入口の自動ドア取付けなどを行う</p>	<p>▼鈴木首相ASEAN歴訪▼米国第40代大統領にレーガン氏就任▼ローマ法王パウロ二世来日▼神戸ポートピア'81開催▼ポーランドのワレサ議長来日▼ノーベル物理学賞湯川秀樹博士亡くなる▼福井誠一京大教授にノーベル化学賞▼沖縄に新種の鳥「ヤンバルクイナ」発見</p>
1982(昭和57)	<p>▼連続4期、14年間にわたって市制発展に尽くされた小谷善高市長が逝去▼小谷市長逝去にともない市長選挙が行われ、牧田実夫新市長が決まる▼北谷公民館移転改築▼高城保育園移転改築▼高城児童館完成▼倉吉スポーツセンターオープン▼倉吉歴史民俗資料館完成▼60年わかつり国体の開催が正式に決定し、国体準備委員会を実行委員会に改め、本格的な国体準備を始める▼生田橋完成▼上灘土地区画整理事業完了、河北土地区画整理事業に着手▼障害者福祉都市推進事業として「第1回市民ふれあい広場」を開催▼市の上水道創設50周年を迎える▼中国青年商業研修のため来倉▼小鴨小校舎増築</p>	<p>▼日航機羽田沖に墜落し死者24名負傷者147名をだす▼1,000年振りに惑星直列、太陽からみて95度の扇形内に惑星が並ぶ▼新5百円硬貨発行▼趙紫陽中国首相が政府公賓として初めて来日▼ソ連ブレジネフ書記長死去▼上越新幹線大宮～新潟間営業運転開始▼中曽根内閣発足</p>
1983(昭和58)	<p>▼市制施行30周年にあたり、テーマ「いま“行動”の倉吉」スローガン「いい人、いい町、いいあすを」など決まる▼倉吉西保育園、小鴨保育園完成▼老人保健制度実施▼60年わかつり国体を2年後にひかえ、リハーサル大会(ラグビー、フットボール)開催▼参議院の全国区選挙に比例代表制が採用される▼伯耆自転車道が一部開通▼倉吉武道館完成▼市制30周年記念式典をはじめ、各種記念事業を盛大に挙行</p>	<p>▼初の比例代表制施行▼ロッキード裁判で田中元首相に懲役4年の判決▼アキノ氏マニラ空港で暗殺される▼青函トンネル貫通▼秋田沖地震M7.7発生▼島根県に集中豪雨、死者102名にのぼる</p>
1984(昭和59)	<p>▼倉吉市公共下水道一部供用開始▼倉吉健康農園開園▼市役所漢字オンライン化システム稼動▼天神川流域下水道事業一部供用開始▼都市計画税設置▼倉吉市水と緑と文化のまちづくり協議会発足▼市営野球場ナイター設備、市営庭球場、ラグビー場、倉吉自転車競技場国体関連施設整備▼国体事務局を新設▼伝染病隔離病舎完成▼わかつり国体4種目のリハーサル大会(テニス、バレーボール、自転車、高校野球)を開催▼西郷小プール完成▼倉吉地区総合防災訓練を実施▼倉吉線問題はバス転換の方向を決定</p>	<p>▼ソ連のアンドロポフ書記長死去、後任にチェルネンコ氏就任▼インドのガンジー首相暗殺される▼第二次中曽根内閣発足▼レーガン大統領再選▼グリコ森永事件世間を騒がす▼全斗煥韓国国家元首来日▼長寿ニッポン世界に宣言▼新札発行</p>
1985(昭和60)	<p>▼明治45年上井一倉吉間に軽便鉄道が開通して以来市民に親しまれてきた倉吉線が廃止される▼市の緑を守り育てる条例を制定し、第1回緑のフェスティバルが開催される▼倉吉の鋳物師が国の重要有形文化財、伯耆国庁跡付法華寺畑遺跡、国庁跡、子持ち壺須恵器二種が国の重要文化財に指定される▼社小学校、河北小学校の校舎の改築が完成する▼第1回土蔵まつり開催▼倉吉大橋の開通▼第6次総合開発計画決定▼市議会議員選挙実施▼第40回国民体育大会で倉吉市5競技実施▼天皇陛下20年ぶりに倉吉行幸▼潤いのあるまちづくり推進で自治大臣表彰▼打吹公園通り開通</p>	<p>▼ソ連のチェルネンコ書記長が死去、後任にゴルバチョフ氏就任▼男女雇用機会均等法可決成立▼第40回国民体育大会わかつり国体が開催され、鳥取県が天皇杯、皇后杯を獲得</p>

年表(6)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1986(昭和61)	▼倉吉市長に牧田実夫氏が再選される▼打吹山が緑の文明学会から森林浴の森日本 100選に選ばれる▼興和紡績倉吉工場を閉鎖▼山陰路観光キャンペーンが繰り広げられる▼南部忠平杯第1回くらし女子駅伝が開催▼国鉄改革法案可決、成立で山陰の鉄道も分割民営化へ▼市役所線定期路線バス運行開始▼円高不況が県内でも深刻化▼倉吉市にオンキョー進出	▼アメリカでスペースシャトルの爆発▼フィリピンでアキノ女史による政権発足▼公務員60歳定年法成立▼円1ドル160円に急騰▼社会党委員長に土井たか子氏就任▼伊豆大島三原山噴火▼余部鉄橋事故発生
1987(昭和62)	▼第1回くらしふるさと風のまつり開催▼鳥取オンキョー(株)が竣工、操業開始▼鳥取県身体障害者スポーツ大会が開催▼倉吉東中学校の新校舎完成▼倉吉市シルバー人材センターが発足▼台風19号が357ミリの豪雨を降らし、倉吉市で14億5千万円の被害額をだす▼養護老人ホームの改築工事が河北地区土地区画整理事業区域内ではじまる▼東橋が完成▼第3回トレシンプodiumで打吹公園のトレがグッドトレ10に入る▼地方自治法施行40周年、自治制公布百年記念にあたり、優れた市町村経営により自治大臣から表彰される▼印鑑証明業務の電算化開始	▼国鉄がJRとしてスタート▼東京の地価が暴落▼世界の人口が50万人を突破する▼靈感商法の被害者が1万4千人に達する▼天皇陛下慢性すい炎で手術▼新電電3社サービス開始▼日本人7人目のノーベル賞受賞者に利根川進氏が決定▼世界で株価の暴落▼大韓航空機撃墜▼天皇陛下が公務に復帰
1988(昭和63)	▼倉吉市立養護老人ホームの名称が「シルバー倉吉」ときまる▼倉吉緑の彫刻賞の第1回受賞作品2点「こっとい」、「帽子を被ったら歩いてみよう」が倉吉大橋の親柱にすえつけられ除幕▼3月定例議会で市議会議員定数を2名減の28名として可決、また農業委員の定数を10人減少して定数20人になる▼倉吉東高校が選抜高校野球に出場する▼博物館前お手洗い、成徳前ポケットパークのさわやかトイレが完成▼打吹山の展望台がやぐら風に改装▼北谷小学校「倉吉緑の少年砂漠黄河学習団」が中国を訪問▼森林浴の森全国協議会総会が倉吉市で開会▼倉吉市立養護老人ホームが河北地区土地区画整理事業区域内に完成▼水道料金が平均18.73%増の料金改訂▼日韓親善高校野球大会開催▼(株)丸三レックス、マルサンレックス(株)が倉吉市に進出▼第4回全国トレシンプodiumが盛大に開催▼明治町の市営住宅が約1億7千万円で完成▼倉吉市ディ・サービスセンターがオープン	▼ソ連外相がアフガニスタンから撤兵の意向表明▼東京ドーム落成▼青函トンネル開通▼瀬戸大橋開通▼中海・宍道湖の淡水化を凍結▼海上自衛隊潜水艦が釣り船に衝突し30人死亡▼ソウルオリンピック開幕▼リクルートに強制捜査▼消費税法案成立▼十勝岳噴火
1989(平成元)	▼北谷小学校屋内運動場が完成▼高城小学校校舎が完成▼市役所で第2、4土曜日が閉庁となる▼新町1、2、3丁目の新町通りがカラー舗装となる▼倉吉ふるさと物産館が成徳前ポケットパークに完成▼打吹山の峠の広場に展望台トイレが完成▼倉吉市立図書館がオープン▼打吹公園が日本都市公園百選に選ばれる▼全国中学校相撲選手権大会が倉吉市で開催▼高松宮杯全日本軟式野球大会が倉吉市で開催▼福吉町生田線が開通	▼昭和天皇崩御、元号が「平成」になる▼リクルートの江副前会長逮捕▼消費税(3%)スタート▼ゴルバチョフ書記長が国家元首に▼北京天安門広場のデモが100万人規模になる▼宇野首相退陣▼鳥取世界おもちゃ博開催▼ベルリンの壁解放
1990(平成2)	▼打吹公園飛龍閣の一角にメロディボックスを設置▼旧倉吉線跡地が「緑の彫刻プロムナード」として一部開通▼めいりん通りお手洗い完成▼余戸谷町水源地改築完了▼上北条小学校開校▼打吹公園がさくらの名所百選に選ばれる▼倉吉市長に早川芳忠氏が就任▼台風19号襲来、18億円以上の被害となる▼倉吉総合卸売市場が清谷に完成▼北谷小学校に日本一の地球儀ができる	▼南アで黒人指導者マンデラ氏釈放▼礼宮さまご結婚紀子さまブーム▼日本人初の宇宙飛行士誕生▼ペルーで世界初の日系人大統領誕生▼イラクがクウェートに侵攻し湾岸危機発生
1991(平成3)	▼上井第一雨水幹線構造工事着工▼河北小学校の屋内運動場が完成▼まちかどステーション・上灘コンフォートステーション・倉吉鉄道記念館完成▼三明寺老人憩いの家完成▼倉吉ユネスコ協会設立▼伯耆ニューライフビレッジセンター建設工事着工▼水と緑と文化のまちづくり協議会を「倉吉まちづくり協議会」へ改名する▼農業博覧会事務局を設置▼最大風速45.9m/sの台風19号で大被害▼第1回倉吉はごろもクロスカントリー大会開催▼成徳前パークが都市景観大賞に輝く	▼湾岸戦争でイラクが大敗▼九州雲仙普賢岳噴火で避難生活長期化▼ソ連政変、連邦解体▼南北朝鮮が国連加盟▼海部首相退陣、宮沢政権発足▼バブル経済崩壊で大型好景気に陰り、地価下落
1992(平成4)	▼倉吉農業博覧会「フルーツコレクション倉吉93」のマスコットキャラクター募集に全国から千点以上の応募がくる▼博覧会シンボルマークが決定▼博覧会の会場が正式に市営ラグビー場周辺の約5万8千平方メートルと決まる▼倉吉日本リスの会結成▼博覧会フルーツ大使決定▼博覧会マスコットキャラクターの名称が決定▼上井第一雨水幹線構造工事の仮水路 1,172メートル完成▼旧倉吉警察署跡に勤労青少年ホームが移転▼明倫小学校体育館が完成▼天神野、西鴨に老人憩いの家が完成▼博覧会マスコット「おいしいなっちゃん」がデビュー▼山陰で唯一「行ってみたい旅のまち」に選ばれる▼市役所の組織機構一部変更▼市役所が毎週土曜日にも休みになる▼「倉吉市休日サービスカウンター」設置▼博覧会前売り券発売開始▼倉吉北高校夏の甲子園に出場▼韓国羅州郡友好親善訪問団来倉▼テレポート構想モデル都市に選ばれる▼博覧会秋のイベント開催▼伯耆ニューライフビレッジの名称が「伯耆しあわせの郷」に決定▼倉吉市在宅介護支援センターがオープン▼明倫地区をモデルに資源ゴミの分別収集を開始	▼佐川事件▼暴力団対策法施行▼中海に鳥取・島根県の県境を設定▼PKO法案成立▼県経済連と県果実連が合併し県農連がスタート▼バルセロナ五輪で森下、山下、西本の鳥取県出身者が活躍▼中国と韓国の国交樹立▼不況深刻、大型景気対策を実施▼自衛隊をカンボジアに派遣▼天皇皇后両陛下が初めて中国を訪問▼アメリカの大統領にクリントン氏当選▼中国横断米子自動車道開通▼エイズ感染者が急増▼境港の年間水揚げ量が釧路港を抜き日本一になる

年表(7)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1993(平成5)	<p>▼興和紡績倉吉工場跡地を一括購入する▼伯耆あわせの郷が小田にオープン▼農業博覧会の起工式が行われる▼新給食センターが生田に完成▼韓国羅州郡で姉妹都市提携協約調印をおこなう▼一般国道 313号に新大鴨橋が完成▼部落解放基本法制定要求国民運動倉吉市実行委員会結成▼倉吉市身体障害者体育大会開催▼緑の彫刻プロムナードが「手づくり郷土賞」を受賞▼倉吉駅西側に市営倉吉駅前駐車場、東側に伯耆回廊のみちしるべが完成▼市制40周年記念事業倉吉農業博覧会「フルーツコレクション倉吉93」が開幕する(総入場者数が32万 5,188人)▼倉吉市制40周年記念式典挙行▼鳥取県が興和紡績倉吉工場跡地に梨博物館(仮称)の建設を発表</p>	<p>▼曙、初の外国人横綱になる▼だいせん国体開催▼金丸自民党総裁が脱税容疑で逮捕▼鳥取市で琢磨ちゃん誘拐事件発生▼サッカーJリーグ開幕▼皇太子、雅子さまご成婚▼北海道南西沖地震で大きな被害▼細川連立内閣スタート▼冷夏、豪雨で農作物の被害甚大、コメの緊急輸入実施▼細川内閣コメ部分解放受諾を決定</p>
1994(平成6)	<p>▼平成7年8月開催の全国高校総体で倉吉市が剣道と自転車の会場で決定▼不入岡遺跡で全国最大級の建物施設群が確認される▼社小学校の体育館が完成▼倉吉市長選挙で早川氏が再選される▼西福守町にふれあい公園が完成▼鳥取女子短大に日本文化学科が開設される▼倉吉博物館に世界最大級の双眼鏡、大型天体望遠鏡太陽観測装置が導入▼倉吉ライオンズクラブ緑の協力隊が中国で砂漠緑化活動を行う▼河北小学校新校舎完成▼倉吉市が鳥取県内ではじめて再生トイレトペーパー利用推奨制度をスタートさせる▼全国高校総体の男子団体弓道で倉吉西高校が優勝▼興和紡績倉吉工場跡地利用基本構想の概要が決定▼倉吉営林署の統廃合が決定</p>	<p>▼羽田連立内閣成立▼自民、社会、さきがけによる村山連立内閣の樹立▼智頭急行12月開業決定▼シューメーカー・レビー彗星が木星に衝突▼北朝鮮の金日成首席が死去▼全国的に記録的な猛暑と水不足発生▼アフリカ・ルワンダに自衛隊派遣▼英仏トンネル開通▼日本人女性初の宇宙飛行士が誕生</p>
1995(平成7)	<p>▼兵庫県南部地震に対し救護物資を積み込んだ緊急車両を被災地に向かわせる▼倉吉営林署が「倉吉森林管理センター」として再出発▼市内中学生を対象とした「まちづくりジュニア・プランナー事業」を開催▼倉吉市水道局が阪神大震災で破損した水道施設の復旧支援へ応援隊4人を派遣▼「伯耆回廊のみちしるべ」が「倉吉ほっとプラザ」としてスタート▼海田バイパス開通▼市在住外国人を対象に特別給付金制度がスタート▼不入岡遺跡でオンドルの遺溝県内で初めて確認▼デイサービススタート▼倉吉駅前エントランス広場が完成▼上井児童センター完成▼興和紡績跡地利用計画スタート▼「認定農業者」25人誕生▼市独自のエンゼルプランの策定に着手▼新ごみ収集制度がスタート▼倉吉市立図書館に図書館コンピューターシステムが導入される▼上北条公民館が完成</p>	<p>▼兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)が発生▼地下鉄サリン事件発生、新興宗教の信者が多数逮捕される▼鳥取インターハイ開幕▼中国横断道北房一岡山総社間が開通▼犬狭トンネル貫通▼金融業界の不良債券問題が表面化▼米大リーグで野茂が新人王獲得▼フランス、中国が地下核実験を強行▼イスラエルのラビン首相が暗殺される</p>
1996(平成8)	<p>▼倉吉市がインターネットにホームページを開設▼倉吉市でNHKドラマ「鳥帰る」のロケが始まる▼古川沢の下張坪遺跡で多数の古墳群が確認される▼倉吉市議会で議員定数の3人削減が決定▼ほうきりサイクルセンター稼働開始▼出口橋、和田橋が開通▼倉吉市勤労青少年ホームの愛称が「リフレプラザ倉吉」に決定▼河北土地区画整理事業が完成、竣工式が行われる▼公文書公開制度がスタート▼倉吉一関間線の広域林道が開通する▼「倉吉躍動1000日戦略」策定で個性的なまちづくりを目指す▼大御堂廃寺(駄経寺町)から奈良時代の木樋がほぼ完全な状態で出土する▼協同組合倉吉大店会事務所(魚町)が国の登録有形文化財に指定</p>	<p>▼北海道のトンネル崩落事故をうけて日本各地の国道で危険箇所点検を実施▼病原性大腸菌O157による食中毒が全国に広まる▼アメリカ・アトランタ五輪開催▼世界・梨ドリーム博が東伯町で開催される▼新選挙区制度のもと、初めての衆議院選挙実施▼ペルーの日本大使公邸を武装グループが襲撃、占拠</p>
1997(平成9)	<p>▼「倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」を策定▼「倉吉躍動1000日戦略」がスタート▼綱引き日本一の打吹レディースに倉吉市初の市民栄誉賞が贈られる▼市庁舎にロビーマネージャーが登場▼倉吉市出身の俳人、河本緑石の生誕 100年を記念して「河本緑石に学ぶ講座」を開講▼倉吉パークスクエア構想の基本計画がまとまる▼ロス五輪三段跳びの金メダリストで鳥取女子短期大学の元学長、南部忠平氏が死去▼倉吉市出身の大坂弘道氏が工芸技術の部で人間国宝に選ばれる▼中・四国で最大のコントリビューター「アグリマス鴨水」が鴨河内に完成▼独自性のあるまちづくりを目指して、第3セクターの会社「榎赤瓦」を設立▼一般国道 313号犬狭峠道路が開通、高速交通網の整備がすすむ▼積極的な企業誘致の推進を目的として「倉吉市大阪事務所」を開設</p>	<p>▼ロシアのタンカーが座礁、日本海沿岸に重油被害▼動燃東海事業所で火災、放射能漏れ事故で嘘の報告が発覚▼ペルー人質事件が軍隊の強硬突入で3カ月ぶり解決▼消費税が5%になる▼香港が中国に返還▼境港市で「山陰夢みなと博覧会」が開催、総入場者数約 193万人で大成功をおさめる▼英国元皇太子妃ダイアナさんが交通事故死▼大手証券会社の山一証券が自主廃業▼東南アジア諸国で通貨危機が発生</p>
1998(平成10)	<p>▼県中部10市町村により「鳥取中部ふるさと広域連合」が発足▼JAとうはくを除き県中部9市町村の農協が合併しJA鳥取中央になる▼倉吉市長選挙で早川氏が三選を果たす▼トマトの水耕栽培施設が完成▼まちづくり会社(榎赤瓦)が1・2・3号館を整備しグランドオープン▼興和紡績地で安全祈願祭(文化センター、梨博物館、女性センター工事本格化)▼染織家:福井貞子さん、大工:青亀雄二さんに倉吉市民栄誉賞授与▼養護老人ホームシルバー倉吉が社会福祉法人敬仁会に民間委託される▼韓国羅州市との姉妹都市結縁5周年▼倉吉を舞台に漫画「遙かな町へ」が描かれる▼倉吉打吹玉川の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される</p>	<p>▼キトラ古墳「星宿図」発見▼映画「タイタニック」アカデミー賞▼明石海峡大橋開通▼インド、パキスタン核実験▼東大寺千手堂全焼▼史上初の兄弟横綱 若乃花・貴乃花▼和歌山毒物カレー事件▼火星探査機打上げ成功▼横浜高校春夏連覇(野球)▼横浜ベイスターズ38年ぶりプロ野球日本一</p>